

Q1 男女共同参画社会は、女性のためだけの社会なの？

男女共同参画社会とは、女性の社会参画を推進するものだけではありません。男性も女性も、社会の対等な構成員として、自らの意思によって、職場や家庭や地域など社会のあらゆる分野で、共に責任と喜びを分かち合うことができる、心豊かな社会を目指しているものなのです。

これまで、男性は仕事に追われ、家庭を振り返る余裕がなかった人も多く、もっと子育てや家族との時間をもちたかったと思っている男性もいるかと思います。男女共同参画社会は、男女を問わず、家庭や地域とのつながりも大切にしながら、個人がその能力と個性を十分に発揮することができる社会を形成していくことであり、男性にとっても重要な問題なのです。

Q2 男女共同参画は「男らしさ」「女らしさ」を否定しているの？

男女共同参画の目指すところは、決断力や優しさなど男女に限らず人間にとって良い特性を「男らしさ」「女らしさ」の二つに分類するのではなく、男女を問わず、大切にしようということです。

「男らしさ」「女らしさ」として安易に分類すると、「男とはこういうものだ」「女はこうすべきだ」という決めつけにつながり、その人の個性と能力をいかした選択を妨げることになる恐れがあります。

男女共同参画は、「男らしさ」「女らしさ」という型に安易にとらわれることなく、一人一人の個性を尊重し、多様な選択を認め合い、個人の能力を十分に発揮した生き方ができるようにすることを目指しているものです。

Q3 男女共同参画は、伝統や文化を否定しているの？

男女共同参画は伝統や文化を否定するものではありません。男女共同参画社会は、長い伝統や文化などを大切にしながら、性別によって男女の人権が侵害される部分を改善すること、個性や能力を発揮するうえでの阻害要因を是正することなどにより実現されるものです。

Q4 専業主婦はいけないの？

男女共同参画は専業主婦を否定していると誤解されることがありますが、家事も労働のひとつであり、専業主婦でいることは決して悪いことではありません。しかし、本当は外で働きたいのに、「女性は家庭を守るべき」という固定的な考え方や回りの人の意見で家庭に縛られてしまうのは、その人にとっても社会にとっても残念なことです。

Q5 女性の社会進出が進むと、ますます少子化が深刻になるのでは？

90年以降、北欧諸国やアメリカなど、女性の労働力率が高い国ほど出生率も高くなっています。男女共同参画が進み、育児休業制度や保育サービスなどが整備されていることが要因のようです。**男女共同参画とは、出産や子育てを社会全体で支援し、働き続ける女性と男性が、共に、働きながら安心して子育てをすることができる社会を築いていくことを目指しています。**

また、子育てで最も大切なことは、母親と父親が互いに協力しながら、深い愛情や思いやりを持って子どもに接し、その喜びや苦勞を分かち合うことです。

男女共同参画は、家庭や家族を不安にしようとするものではありません。男女が対等なパートナーとして、お互いに思いやり、協力し合うことによって、家族としての絆を深めながら、豊かな生活を送ることができる社会を目指しているのです。